

①「糸満市における小中一貫教育の在り方の提言（案）」に関する  
パブリックコメントへの回答

意見書提出者数	2名	意見件数	11件
---------	----	------	-----

No.	該当頁	項目	意見概要	回答
1	1	はじめに	主役である子どもたちを主語にした別角度からの議論も進んでいくように、幅広い方を委員会構成メンバーに加えてはいかがでしょうか。	今後、委員会設置の際は学校や地域、関連分野に明るい方など、多岐にわたるメンバーで構成してまいりたいと思います。
2	2	1.小中一貫教育の基本方針 (1)小中一貫教育について	「地域で子供を育む」という文言内の「子供」の中に障害のある児童は含まれていますか。市内で通学を希望する児童は通学できるのでしょうか。	「子供」の文言の意味には、当然ながら障害のある児童も含まれています。基本的には、指定校に通学することとなりますが、小規模特認校制度を導入する学校においては、施設の構造及び設備に合わせて、空きがあれば、児童生徒を募集する予定です。受け入れ可能かどうかについては、慎重に見極める必要があることから、相談に応じるなどして判断したいと思います。
3	3～4	1.小中一貫教育の基本方針 (3)児童生徒の発達段階に応じた学年区分～ (4)小中一貫教育における各中学校区共通の取組	小中一貫は「中1ギャップの解消」が最大のテーマだと感じます。現状を項目に分けて深掘りする。或いは、不登校や欠席数の具体的な数値から見えてくることもあると思います。	小中一貫教育の利点の一つとして挙げられる「中1ギャップ」の解消は重要であるという認識から、調査・分析すべき項目等について検討してまいります。

No.	該当頁	項目	意見概要	回答
4	3～4	1.小中一貫教育の基本方針 (4)小中一貫教育における各中学校区共通の取組 ②小・中学校9年間を見通した教育課程の編成と実施	「地域の教育資源の活用が活発に進むように（地域）コーディネーター職の配置は不可欠である」というのは是非とも強く推進していただきたいと思います。その場合、学校のことがよくわかっておりフットワークが軽く行動できる人材が不可欠になります。	市教育委員会においては、地域学校協働活動に取り組んでおり、各中学校区に地域コーディネーターを配置（一部欠員）し、地域と学校の連携に役買っています。今後は、各小・中学校に地域コーディネーターを配置するなどして活動の拡充を図ってまいります。
5	3～4	1.小中一貫教育の基本方針 (4)小中一貫教育における各中学校区共通の取組 ③学校・家庭・地域が協働した教育の推進	カウンセリングやアンガーマネジメントなどの学びを深めている地域の方々を発掘し、学校近くの空き店舗などを活用して学校外適応指導教室のような意味合いで子どもたちの学校復帰支援の任にあたってもらうはどうでしょうか。	現在、市教育委員会では「とびうお教室」等の適応指導教室を設けて児童生徒の支援にあたっています。引き続き、地域の方々や関係者のお力添えを頂きながら、児童生徒の学校復帰支援に取り組んでまいりたいと思います。
6	4	1.小中一貫教育の基本方針 (5)小中一貫教育コーディネーターの配置	必要なのは小中一貫コーディネーターの先生を補佐する役割の人材です。コーディネーターになれる先生は確かな情報さえ得られればご自身でPDCAサイクルを描いて動かれるので、ビジョンの共有ができている人材によるアシストが重要だと思います。	小中一貫教育コーディネーターを中心に組みますが、校長や教頭、市教育委員会において全面的にサポートしてまいります。さらに、実現可能であれば小中一貫教育について指導助言を行う小中一貫教育アドバイザーを配置し、より推進していきたいと考えています。

No.	該当頁	項目	意見概要	回答
7	5	1.小中一貫教育の基本方針 (6)小規模特認校制度を導入した通学区の弾力化	小規模特認校制度については、是非導入を進めていただきたいです。	現時点において、令和6年度開校予定の糸満市立高嶺小中一貫教育校（仮称）で小規模特認校制度を導入する見込みとなっています。
8	5～6	2.特色ある教育課程の編成に向けて (1)英語教育の充実（教育課程特例校制度・授業時数特例校制度の導入）	英語教育は低年齢からの学習が望ましいとされていることから、外部（外国人等）講師を招く授業等は小学校1・2年生からスタートしていただきたいです。	教育課程特例校制度で小学校1・2年生において「外国語活動」を設置する際は、英語により慣れ親しんでもらうためにAET（英語指導助手）等も関わっていくこととなります。
9	5～6	2.特色ある教育課程の編成に向けて (1)英語教育の充実（教育課程特例校制度・授業時数特例校制度の導入）	小中一貫で要になる授業は算数・数学と国語ではないかという印象があります。英語よりも先に日本のこと、沖縄のこと、糸満のことをもっと日本語で学び語れるようになってほしいと願っています。	特色ある取り組みの一環として、住んでいる地域に愛着や誇りを持てるようにするために「ふるさと学習」に力を入れます。併せて、依然として語学力向上のニーズが高いことから、英語教育の充実も図ってまいります。
10	6	2.特色ある教育課程の編成に向けて (2)地域資源を活かしたふるさと学習	地域学習の充実は大事だと考えおり、ひめゆりの塔などの見学（平和学習）、工場・市場・観光地見学等は積極的に取り入れていただきたいです。	各中学校区の特色ある地域資源（歴史・伝統行事等）を大いに活用してまいりたいと考えています。
11	6	2.特色ある教育課程の編成に向けて (3)中学校教員による小学校高学年への乗り入れ授業	中学校へ進級するにあたり、スムーズに学習に取り組めるので、高学年への乗り入れ授業はとても良い制度だと思います。	乗り入れ授業の実施により、複数の先生が関わることで児童の心の安定につながることや中学校の進学に対して一定程度の不安解消等が期待されることから教職員増員を条件に取り組んでまいります。